

第3次鹿嶋市スポーツ推進計画 概要版

第1章 計画の策定にあたって（1～2ページ）

1 計画策定の趣旨

市民の日常にスポーツ活動が定着するとともに、スポーツを通じた様々な取組を本市のまちづくりにつなげていくために、国や県、その他関連計画との整合を図り、第2次鹿嶋市スポーツ推進計画の進捗状況や課題等を踏まえながら策定する。

2 計画の位置づけ

スポーツ基本法第10条に定める「地方スポーツ推進計画」に位置付けるとともに、国の「第3期スポーツ基本計画」及び「茨城県スポーツ推進計画」を踏まえ、本市の上位計画である「第四次鹿嶋市総合計画の基本計画」及び「第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画」を推進するための個別計画とする。

3 計画の期間

10年間 2022年度（令和4年度）～2031年度（令和13年度）5年目に見直しを行う。

第2章 現状と課題（3～12ページ）

1 鹿嶋市人口ビジョン

2060年（令和42年）には人口48,756人まで減少すると予測される。

2 SWOT分析から見たスポーツ環境

鹿嶋市スポーツ推進審議会でSWOT分析を行い、本市のスポーツ環境が抱える現状と課題等を取りまとめ、本計画を策定するうえでの検討材料のひとつとする。

◆SWOT分析とは？ 自治体の社会経済的環境を「外部環境（機会／脅威）」と「内部環境（強み／弱み）」に分け、今後の施策の方向性を導き出すフレームワーク

3 社会情勢と今後の取組の方向性

- 人口減少と少子高齢化**：地域コミュニティを活性化させ、市民が健康でいつまでも元気に暮らしていくために、スポーツの果たす役割・意義はますます重要になる。
- 健康寿命への意識**：健康寿命を伸ばすことで、自分らしく過ごせる期間が長くなる。また適度な運動を実践することで、個人の抱える多様かつ個別の健康課題の改善が期待される。
- 東京2020オリンピック競技大会開催とレガシー**：地域ブランディングの推進とともに、オリパラ教育から得た子どもたちの学びを「スポーツによるまちづくり」に活かすことが求められる。
- 鹿島アントラーズとの関わり**：「スポーツのまち鹿嶋」として地域を発展させるために、地域住民や企業も一体となり、地域の活性化を生み、育てていくことが重要となる。
- 新型コロナウイルス感染症とライフスタイルの変化**：コロナ禍で運動不足による健康被害が懸念される一方、運動・スポーツに対する意欲を高めている人は増えている。正しい感染リスクについての情報発信を行い、運動・スポーツへの意欲を減退させない取組が必要となる。
- スポーツ×SDGs**：スポーツの力を活用しSDGsの達成に向けた取組を推進することで、SDGsの認知度向上につながることから、計画にSDGsの視点を反映させる。
- 社会体育×学校教育（学校体育）**：地域と学校が連携した新しい部活動の形の構築とともに、学校体育と地域・社会体育の連携についても併せて協議していく。
- 施設の在り方**：現在ある施設を長寿命化し、最大限活用するとともに、スポーツ施設以外の場で、スポーツが楽しめる場所等の確保を進める。
- 財政**：限られた財源の効果的・効率的な活用は言うまでもなく、新たな財源の確保や、より一層の産業振興等にも取り組んでいく。

第3章 計画の基本的な考え方（13～14ページ）

1 10年後の将来像

Colorful Stage KASHIMA through Sports
～スポーツで彩る健康で豊かなライフステージ～

市民だけでなく本市に関わる誰もが、地域の特性や様々な地域資源を活かしながら、それぞれのライフステージや価値観に合ったスポーツの楽しみ方を見つけ、スポーツが充実した生活の一部として定着し、生涯を通じて健康で生き生きと暮らすとともに、スポーツを通じて地域コミュニティの活性化と交流の推進が図れることとする。

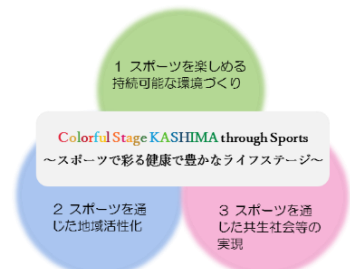
2 基本目標

ライフステージと価値観に合わせてスポーツを楽しむとともに、生活習慣改善と心身の健康づくりを推進することで健康寿命を伸ばし、鹿嶋市で過ごす時間が彩り豊かなものとなるよう、3つの基本目標を位置づける。

- 目標1：スポーツを楽しめる持続可能な環境づくり
- 目標2：スポーツを通じた地域活性化
- 目標3：スポーツを通じた共生社会等の実現

3 成果指標

計画の着実な進行管理を行うために設定する（詳細は次ページを参照）



第4章 基本目標に基づく取組と方針（15～48ページ）

1 クロスSWOT分析による戦略化アプローチ

現状の課題の整理と並行し、各要因の因果関係と具体的事項（エビデンス）を考察したうえで、将来あるべき（理想とする）姿を実現するための戦略的な取組の取捨選択、優先順位を決定し、基本目標に基づく方針と取組を定める。

◆クロスSWOT分析とは？ SWOT分析で抽出した「外部環境（機会／脅威）」と「内部環境（強み／弱み）」の具体的事項同士（強化すべき強みの項目と克服すべき弱みの項目）を結びつけ、目標に向けた戦略を導き出すフレームワーク

2 基本目標の分類

クロスSWOT分析で導いた戦略（①積極的攻勢・展開、②差異化戦略、③段階的施策・改善、④問題事態回避）に基づき、方針を定める。

3 計画の体系図

詳細は次ページを参照

4 方針

詳細は次ページを参照

		外部環境	
		Opportunities（機会）	Threats（脅威）
内部環境	Strength（強み）	積極的攻勢・展開 S（強み）×O（機会）	差異化戦略 S（強み）×T（脅威）
	Weaknesses（弱み）	段階的施策・改善 W（弱み）×O（機会）	問題事態回避 W（弱み）×T（脅威）

第5章 計画の進行管理（49ページ）

1 計画の推進体制

市関係各課やスポーツ関係団体と連携し、目標達成に向けた計画的な事業の推進を図る。

2 計画の評価

定期的に「鹿嶋市スポーツ推進審議会」に報告し、適切な進行管理を図る。

第3次鹿嶋市スポーツ推進計画 概要版【計画の体系図】

